

第15回 ヨハンナ・マルツィ(ハンガリー)(全4回)  
その1 ドイツ・グラモフォンへの録音時代(1951-53)



1924年10月生まれ。6歳からヴァイオリンをはじめ、9歳でブダペストのフランツ・リスト音楽院に入学し、高名なイエネー・フバイのクラスに入る。

13歳でハンガリー、ルーマニアでデビューを果たし、17歳(1942年)でバイ・コンクールで優勝し、同音楽院を卒業。しかし1944年ドイツ軍のハンガリー侵攻によりチロルに潜伏、活動を中断せざるを得なかった。

戦後1947年(22歳)にジュネーヴ国際音楽コンクールで女性演奏者として唯一入賞を果たしてからは世界的に活躍し始める。

録音は1951年～53年まで(26～28歳)ドイツ・グラモフォン

1954年～55年まで(29～31歳)EMI

その後は1972年1月(47歳)まで欧州各地の放送局で録音を残している。

1979年8月チューリヒで癌の為に54歳の生涯を閉じた。気高い音色と品格のある演奏で20世紀のヴァイオリニストの中でも格段の人気がある。

演奏曲目

- 1 モーツァルト ヴァイオリン協奏曲 第4番 ニ長調 指揮:ヨッフム
- 2 ベートーヴェン ヴァイオリン・ソナタ 第8番 ト長調  
ピアノ:アントニエッティ
- 3 ドヴォルザーク ヴァイオリン協奏曲 イ短調 指揮:フリッチャイ

フリッチャイの伴奏で録音したこの曲はマルツィの名盤であるばかりでなく、当時あまり演奏されていなかったこの曲を復活させ、その後大いに広まるきっかけとなった名演です。ご期待下さい。

往年の女流  
名ヴァイオリニストによる  
演奏を聴く

日時 / 1月31日(日) 9:30～11:45

場所 / **つくし野コミュニティホール**

発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全18回(予定)

参加自由・入場無料

問い合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>